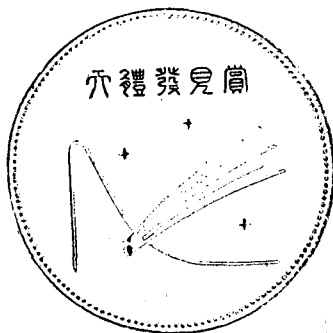


天体発見賞

本会の天体発見賞は昭和11年(1936年)にはじまる。最初の受賞者は「1936年とかげ座新星」の発見者・五味一明氏と、「下保・コジク・リス彗星」の発見者・下保茂氏であり、続いて岡林滋樹氏が新星と彗星の発見に対して2回受賞されている。発見賞は表彰状と賞牌で、表彰状は毎回毛筆手書きである。戦前の賞牌はブロンズ製で外径6.3cmの金色・円形で、表にはドームが浮彫りに

され、裏に天体名・発見年月日・発見者名が彫られていた。第2次世界大戦でこの賞牌の原型が焼失し、新たに製作することになり本誌上で募集されたが、結局本会の理事のアイデアで新星の光度曲線と彗星像を浮彫りにした現在のものに決った。ちなみに現在のものの最初の受賞者は本田実氏である。

(香西洋樹)



1984年5月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	4,	161	6	4,	17	11	—,	—	16	—,	—	21	—,	—	26	—,	—
2	6,	100	7	2,	16	12	—,	—	17	5,	83	22	6,	65	27	—,	—
3	5,	90	8	—,	—	13	—,	—	18	5,	62	23	5,	66	28	5,	48
4	4,	62	9	—,	—	14	6,	150	19	8,	73	24	6,	128	29	5,	41
5	3,	24	10	—,	—	15	7,	116	20	8,	65	25	7,	117	30	6,	53
(相対数月平均値: 93.6)															31	5,	52

昭和59年7月20日	発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町251	啓文堂 松本印刷
定価 450円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話 三鷹 31局 (0422-31) 1359	振替口座 東京 6-13595